

第3版の序

ついにカラー化された第3版の出版にこぎつけることができた。正直、とてもうれしい。ここに至ることができたのも、ひとえに多くの読者の方々に受け入れていただいたおかげである、あらためて感謝したい。

今回の第3版の改訂にあたっては、①冒頭にあるように図版を含めてカラー化、②新しい高校の教科書への対応、③これまで寄せられたご意見への対応、④演習の追加、⑤編集協力者として高田耕司さんへの参加要請、を行った。

①カラー化にあたっては、図版のカラー化とともに、いくつかの図版を加え、新しく描き直した。タンパク質などの立体構造はすべてパソコンで描き直し、その際に利用したPDBコードを各図のキャプションの最後に付した。これを使い演習で述べる手順を踏めば、誰でも自分のパソコン上で立体図を再現し、操作できるはずである。②新しい高校の教科書はずいぶんと分子生物学の内容が付け加わったが、それに伴い生物学・細胞生物学の学問としての発展の流れが見えにくくなつた。本書では、対応した内容を付け加えつつ、これまでの版の良い点である、「読める教科書」からは逸脱しないように努めた。③寄せられたご意見を参考にして、全体を見直して書き直したり、書き加えたりした。わかりやすくなつたと思っていただければ幸いである。④これまでの確認問題に加えて、手を動かして学べる「演習」を新たに追加した。読者が積極的に演習を行うことにより、本書の内容をより理解できるように工夫したつもりである。解答などは羊土社のホームページに載せてインターネットで利用できるようになっていくが、まずはアクティブ・ラーニングを実践してほしい。⑤今回から東京慈恵会医科大学の高田耕司さんに編集の段階から加わっていただき、全体を丁寧に読んでもらつた。別な視点からの有益なコメントを得て、書き加えたり直したりしたところがたくさんある。

第2版の序文に「誤りとあいまいな記述は徹底的に除き」と書いたが、第3版への改訂の過程で読み直してみると、まだ誤りやあいまいな記述が出てきて、汗顏の至りであった。できる限り訂正したつもりだが、疑問に思う点などがあったら、ご指摘、ご意見を寄せてほしい。さまざまな方法で対処していくつもりである。確認問題や演習などをサプリメント・インフォメーションとしてさらに加えていけたらとも思っている。

と、ここまでいろいろ書き連ねてきたが、第2版の序文の最後に書いたように、生物っておもしろい、生きているってすばらしい、という感覚を大切に思う気持ちで本書を改訂している点は変わりない。生命現象の探求に深く分け入るにつれ、生物の進化、生物同士のつながりだけでなく、生命現象をつかさどるシステム同士のつながり、ネットワークの複雑さに、ますます興味をそそられる。読者の方々が生命現象を理解するとともに、そのような感覚を共有できたらならば、望外の喜びである。

最後になったが、改訂の過程で羊土社の編集部の方々、特に鈴木美奈子氏、望月恭彰氏には大変お世話になった。この場を借りてお礼申し上げる。

2015年11月

和田 勝